

校長室だより

令和8年 9月 25日(金)
第 22 号
十日町市立中条中学校校長室

「通知表」の見方について（令和8年度版）

当校は、通知表で成績をお知らせする時期を、前期、後期の2回としています。今年度は9月30日（水）に前期の成績をお知らせします。通知表ファイルには、「通知表の見方」を入れてあります。そこには以下の囲みのように記載しています。それを参照して通知表を見ていただきたいと思います。

前期の通知表では、所見（文章で記述するもの）はありません。主として学習に関する成績をお知らせします。例年、話題になることについて少し触れておきます。

学習の記録について

- (1) 観点別学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点があり、評価項目を各教科で具体化したものです。

評価は、それぞれの達成度に応じてA・B・Cの3段階で示します。

A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力を要する	50%未満



- (2) 評定（5段階）は、3観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の評価及び達成度を基に総合した結果となります。

5	十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの	オールA かつ 90%以上
4	十分満足できると判断されるもの	Cなし かつ 80%以上
3	おおむね満足できると判断されるもの	50%以上
2	努力を要すると判断されるもの	20%以上
1	一層努力を要すると判断されるもの	20%未満

（1）観点別学習状況について

「知識・技能」…… 各教科等で学習する知識及び技能の習得状況についての評価です。各種テストだけでなく、日常の授業の様子からも評価しています。

「思考・判断・表現」…… 各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかの評価です。

「主体的に学習に取り組む態度」…… 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかの評価です。意思的な側面の評価です。



特に「主体的に学習に取り組む態度」での評価は、「授業中に何回手を挙げた」とか「ノートを毎回とった」などの面で評価されるものではありません。普段の学習の状況から、「知識・技能」や「思考・判断・表現」で、力が付いてきていると評価できれば、「主体的に学習に取り組む態度」も高まってきていると評価されるべきものとされています。

従って、観点別学習状況の評価は、「知識・技能」（以下「知」）と「思考・判断・表現」（以下「思」）がともにB評価であるのに「主体的に学習に取り組む態度」（以下「主」）だけがA評価になることはありません。

「知」「思」「主」の3観点は、AAA、ABA、BAA、BBBなどのように、「知」「思」の状況と「主」の状況を鑑みて評価します。

しかし、「知」「思」「主」の3観点が、BBA、BCA、CBA、CCAなどのように、「主」だけがよい評価になることはありません。

日常の授業や今の家庭学習の方法を通して、授業の内容がよく分かってきているとか、学んでいて楽しいと思う実感があれば、良い評価につながると言えます。

これまでと同様に学校としては1人1台端末を用いたAIドリル（まなびポケット、いーぼーど）の活用を推奨しています。是非、家庭でドリルを活用して基礎・基本の復習をして、学校の授業でその知識技能を活用してほしいのです。

（2）評定について

通知表をお返ししたときに一番多く寄せられる質問は、次のようなものです。



うちの子は観点別学習状況がAAAなのに評定5ではないのですか。



確認ください。

観点別学習状況のAは80%以上です。

評定の5は90%以上です。つまり

「知」	85% = A	} 評定4となります。
「思」	85% = A	
「主」	85% = A	

「知」「思」「主」の合計が90%以上にならないと、評定は5になりません。



うちの子は定期テストで95点とりました。5にならないのでしょうか。



ペーパーテストは知識技能を問う問題が多くなります。今は身に付けた「知識・技能」を使い、「思考力、判断力、表現力」を高めることが求められており、テスト以外の日常の様子や取組状況が大切です。成績はテストの点数だけでなく様々な状況を鑑みて算出していることをご理解ください。

補足 相対評価と絶対評価

以前の5段階評定（10段階評定の場合もありました）は**相対評価**で評定を付けていました。

相対評価とは、集団の中でどのくらいの位置しているかを表すもので、たとえば「5は10%、4が20%、3が40%…」と言うように決められた割合の中で評定を付けていました。平成14年頃まで相対評価が多かったので、保護者の皆様の中でもご経験のある方がいらっしゃるかと思います。

今は**絶対評価**で評定を付けています。**絶対評価**とは、各教科の目標に対して、その達成の度合いで評価するもので、各評定での決められた割合はありません。全員が目標を達成していれば、全員が5になる場合もあります。



もし、不明な点があれば遠慮なく、学級担任にご相談ください。評価の根拠について疑問がある方も、学級担任にお申し出ください。教科担任に確認の上、回答いたします。

前期の通知表には、特別活動の記録、表彰などを記載しています。記載内容を確認してください。間違いがあれば、遠慮なくお知らせください。